

## Spectra-Physics製ガスレーザー

	Newportのサーモパイルヘッド			Newportのセミコンダクタヘッド		
	818P-010-12	818P-020-12	818P-015-19	818P-050-17W	918D-UV-OD3	918D-SL-OD3
<b>Stabilite® レーザー</b>						
Stabilite 2017 (すべてのモデル)			*			
Stabilite 2018-RM			*			
<b>BeamLok® レーザー</b>						
BeamLok 2060 (すべてのモデル)			*			
BeamLok 2065 (すべてのモデル)			*			
BeamLok 2080-KV			*			
BeamLok 2080-KR			*			
BeamLok 2080-20S				*		
BeamLok 2080-25S				*		
BeamLok 2085-20/7.0S				*		
BeamLok 2085-25/7.0S				*		
<b>光線エンターテインメントレーザー</b>						
BeamLok 2080-WVR (all models)		*				
BeamLok 2080-RR			*			
BeamLok 2080-BR				*		
<b>空冷式レーザー</b>						
HeNe Lasers					*	*
161 Series	*					
163 Series	*					
177 Series	*					
183 Series	*					
185 Series	*					

\*デテクタヘッドは、コスト効率、出力分解能、使いやすさでお選びください。この図は、必ずしも適合するすべての受光器を示すものではなく、一番のお勧め製品をご紹介しますためのものです。

お勧めする出力メータは1936-C/2936-C、1918-C、842-PEまたは1916-Cです。

ほとんどの空冷式イオンレーザーの出力は、ビームを広げて出力密度を減らし、918Dデテクタを使って測定されます。

## ビームダンプ

## Beam Dump



- 入射光を吸収
- 反射係数 $<10^{-4}$
- 波長範囲400~700 nmに最適
- 最大光強度30 W/cm<sup>2</sup>
- RMS規格ネジマウント

ビームダンプは入射光を吸収する働きがあるため、不要なビームを捕らえて除去するために使用します。実験室では迷光ビームを阻止する目的で使用され、計装では装置内部の特定の部分からビームが漏れ出すのを防止する目的で使用されます。

ビームダンプの反射防止特性をあらわすパラメータは見かけの反射係数です。入射光を黒色円錐で2回反射させ、このとき観測されるユニットからの反射光強度から反射係数を決定します。PLシリーズのビームダンプは $10^{-4}$ 以下の反射係数を持ち、従来型のビームダンプよりも50倍も効率が向上しています。

ユニットの効率を保つためには機能表面へのホコリや油分の付着を防止して常に清浄に保ち、傷が付かないようにすることが重要です。機能表面をクリーニングするときは、ユニットを一旦分解してから表面を柔らかいクリーンペーパーで拭いてください。クリーニング中は中心合わせマークに触らないように注意して下さい。

## 関連製品



RMSねじマウント (P893参照)

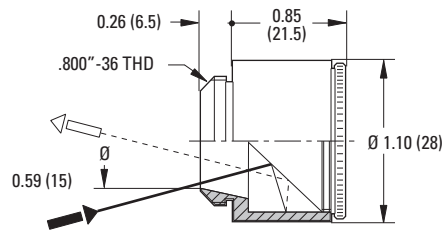
## 仕様

最大ビーム径 [in. (mm)]	0.59 (15)
反射係数	$<10^{-4}$
最大パワー	30 W/cm <sup>2</sup> CW
マウント	0.800-36 (M20.25) RMS規格ネジ

## 発注のご案内

モデル	内容	Price
PL15	ビームダンプ、RMSネジ	¥17,300
LH-0BJ	PL15用RMSネジ式マウント	¥2,700

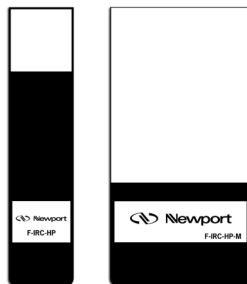
## モデルPL15



CAD CADファイルについては、  
弊社までお問合せください。

## 高出力赤外、紫外センサカード

### High Power Infrared and Ultraviolet Sensor Cards



- 高出力IR/UVレーザービームの位置確認
- モード構造分析
- 10kW/cm<sup>2</sup>までのCW出力定格に対応
- 光学的チャージング不要

IRビューワの代わりに、安価な3枚のポケットサイズカードを使用するだけで、10 kW/cm<sup>2</sup>までの高出力レーザー光源の位置を簡単に確認することができます。使用できる波長範囲は800~1700 nmまたは190~390 nmです。これらのカード表面には、IRまたはUV光があたると光が当たった部分から可視光が放射するセンサ物質が塗布されています。このカードを使用すれば、たとえ暗闇の中でもIRとUVビームが通っている場所と焦点位置を特定し、空間モードパターンを目視で確認することができます。このカードは光学的なチャージングを必要とせず、いつでも使用可能です。

モデルF-IRC-HPは800~1700 nmのIR放射を緑色の可視光へ変換し、F-UVC-HPは190~390 nmのレーザー光を赤色の可視光へ変換します。IRとUVカードは両者共にCWとパルスレーザーに対応します。どちらのモデルも、陽極酸化アルミニウム製カード (25×100 mm) の一方の端の部分に光に感応する領域 (23×23 mm) が作られています。エキシマレーザー、ガスレーザー、Nd:YAG三倍波レーザーなどの検出と位置判別が代表的なアプリケーションです。

モデルF-IRC-HP-Mはより大きな検出面積を持ち、780~1070 nmの波長に感度を持つ高出力センサカードです。50×63 mmの大きさの光感応エリアを持ち、80 W/cm<sup>2</sup>までの出力に耐えるF-IRC-HP-Mはレーザービームのプロファイル測定のためのモード構造解析に特に適した製品です。F-IRC-HP-Mは、ビーム強度の差異をコントラストの大きな黄色近傍の波長領域の光で示しますからYAGレーザーの横モードを可視化して表示することができます。F-IRC-HP-Mのセンサ部分は大きさ50×100 mmの陽極酸化アルミニウムカードの一方の端に配置されています。